

ネットワーク版計測ソフト D151ADL_LAN は、8ch計測ユニット15BXLと、DACS USBデバイスサーバー RPi-USBDS を接続したシステムで動作するソフトウェアです。機能および各種操作は、USB接続の計測ソフト D151ADL と同じです。



接続とソフトウェアの準備

1. DACS USBデバイスサーバー RPi-USBDS のネットワーク設定を行います。設定方法は、DACS USBデバイスサーバー RPi-USBDS 取扱説明書をご覧ください。

HPダウンロードページの R P i フォルダ R P i 3 B _ U S B D S m a n u . p d f

2. Windowsパソコンにて、任意の名前のフォルダを作成し、そのフォルダの中に、弊社HPダウンロードページの 15BXL ¥ 15BXL_LAN フォルダにある実行プログラムファイルをコピーしてください。たとえば Cドライブに、D15BXL という名前のフォルダを作成し、このフォルダの中に、計測プログラムの実行ファイル D151ADL_LAN.EXE をコピーします。

作成したフォルダは、設定ファイルと計測データファイルの書込フォルダにもなりますので、利用される方が、わかりやすいフォルダ名にしてください。



***** 重要 *****
 2020年3月以前に納入させていただいた 15BXLユニットをご使用の場合は、校正ファイル D151ADL_XXXXXXXXX.col も同じフォルダにコピーします。XXXXXXXXX の部分はシリアル番号です。
 2020年4月以降の 15BXLユニットの場合は、校正ファイルは不要です。

WindowsパソコンにUSBデバイスドライバをインストールする必要はありません。

3. 8ch計測ユニット15BXLと、DACS USBデバイスサーバー RPi-USBDS を、USBケーブルで接続し、両ユニットの電源を入れます。
4. Windowsパソコンにて、D151ADL_LAN.EXE を起動します。

プログラムの実行および操作方法にはUSB版の15BXL用ソフト D151ADL と同じです。計測ソフトの操作方は USB接続 計測ユニット 15BXL 取扱説明書をご覧ください。

販売	ダックス技研株式会社 ホームページ https://www.dacs-giken.co.jp
----	--